

安心・安全な国産のお肉を食べ続けるために

公設市場の 役割を考える シンポジウム



さいたま市の食肉中央卸売市場・と畜場に廃止の危機が迫っています。設置者のさいたま市は、市場の利用が減り「公で運営する意義が減った」ことなどを廃止理由としています。

しかし、中央卸売市場には、公正なセリで価格を決め、情報を収集・公開することで、民間取引の相場を司る機能があります。生産者にも消費者にも大きなメリットあることから行政による強い関与で運営されています。“公設市場の役割”を生産者と消費者でともに考えましょう。

基調講演



卸売市場の公共性を考える ー食肉卸売市場問題を事例にー

しみずいけ よしはる

清水池 義治 さん

北海道大学大学院 農学研究院基盤研究部門
農業経済学分野 准教授

プロフィール

専門は農業経済学・農業市場論。酪農をはじめ肉牛・豚・採卵鶏などの畜産物サプライチェーンの研究に従事。1979年生まれ、広島県出身。主著に『生乳流通と乳業』（デーリイマン社）。

パネルディスカッション

さいたま市場・と畜場が廃止に なったらどうなるの？

いま、“現場”では何が起こっているのか、消費者にはどんな影響があるのか。



設置者であるさいたま市の考えや、埼玉県・国にできることはないのか、などを畜産・食肉関係者からの報告で深めます。

とき

2026年

9月15日(火) 18:30~20:00

ところ

浦和コミュニティセンター

さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F
JR浦和駅 東口 パルコ9階 **第15集会室**

その他

資料代 500円 大学生以下無料

オンライン (ZOOM) 配信します

オンラインは、右の QR コード (Peatix) でお申し込みください。購入後、[チケットを表示] すると ZOOM 情報を確認できます。



Peatix ピーティックス

会場参加者は事前申し込みは不要です。オンラインは「ピーティックス」にてチケットをお求めください。

さいたま市食肉中央卸売市場・と畜場の廃止問題を考える会

事務局：埼玉県農民連 熊谷市押切 2540-2 TEL：048-536-5960 mail：info@nouminren.ne.jp